

平成 7 年 10 月 24 日 第 3 種 郵便 物 認 可 2 0 1 1 年 7 月 10 日 発 行 ( 毎 月 1 回 10 日 発 行 ) ・ 通 巻 2 5 4 号

2011

# 月刊 En-ichi

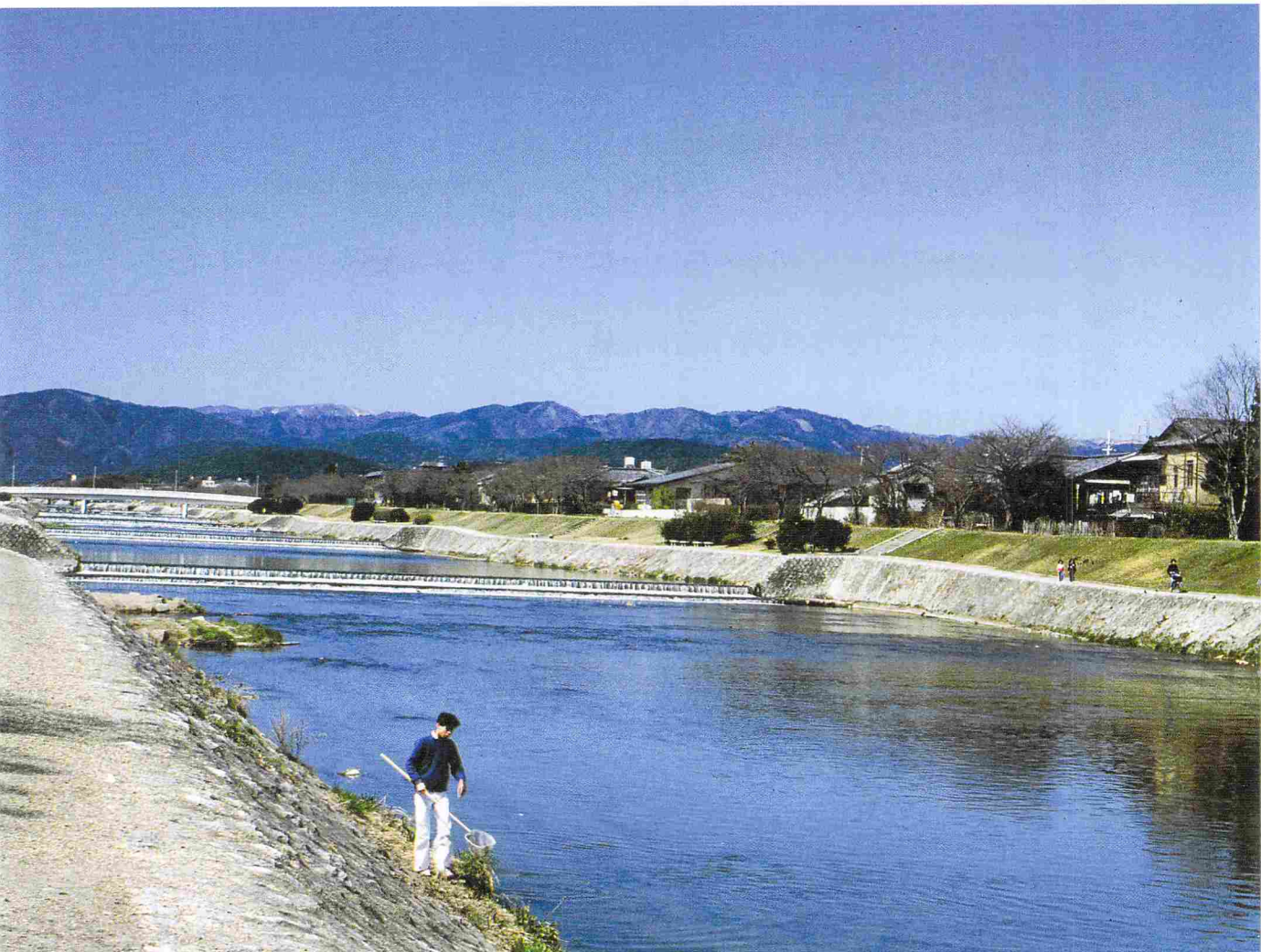
7  
no.254

## 魂の教育を実践する

インタビュー

### 「家族力」をつくる三つの源泉

金城学院大学学長 柏木哲夫



日本の家庭を守る教育情報誌

今月の  
焦点

少なくとも夫婦が何でも話し合っているという、夫婦のコミュニケーションがうまくいっていることを子供たちがきちんと見て育つということが非常に大切だと思います。

「家族力」をつくる三つの源泉 柏木哲夫…5

濃い人間関係には、まずは家族関係を濃くしていく必要があります。…プロセスの中では問題がおこってくるかもしれませんが、それを越えて濃い家族関係を作った時に、本当の心の元気が得られます。

「濃い家族関係」で心の病を解決する 塚越克也…9

(フランス)国民は、エリートを象徴するグランゼコールの卒業生を尊敬している。それは彼らの優れた頭脳にだけでなく、彼らが公共の奉仕者であり、国民を導く指導者と受け止めているからだ。

ヨーロッパで生きる指導者教育の伝統…11

死を考えると結果として「人間は一人では生きていけない」と気づきます。そして家族をはじめ「周りの人との関係性」に気づくわけです。このことがとても重要だと思います。

「死を通して生を考える教育」がなぜ必要なのか 中村博志…15

3	巻頭言		
	学校教育を再構築するための哲学	日本教育大学院大学教授	河上亮一
4	教育再生への課題と展望		
	夫婦が一つになることが家族関係の中心		
	「家族力」をつくる三つの源泉	金城学院大学学長	柏木哲夫
8	家庭学		
	「濃い家族関係」で心の病を解決する	臨床心理士	塚越克也
10	ワールドアフェアーズ		
	ヨーロッパで生きる指導者教育の伝統		
12	情報ファイル		
	合計特殊出生率1・39に上昇		
	未婚化の背景に経済不安や出会いの減少		
14	私の教育実践		
	「死を通して生を考える教育」がなぜ必要なのか	日本女子大学元教授	中村博志
16	オピニオン		
	危険な30代の子宮頸がん増加、超少子化への要因に		
18	病を克服した偉人たち		
	ベドルジハ・スメタナ、作曲したときは難聴だった「わが祖国」		
20	昭和は遠くなりけり		
	出でよ、よき指導者！	筑波大学名誉教授	鈴木博雄
21	子育ては絵本で大丈夫		
	「スイミー」～ぼくが目になろう！	劇団天童／ 天童芸術学校代表	浜島代志子
22	Book Review／読者の声		
24	歴史と伝統の探訪		
	日本とトルコの友好の始まり／和歌山		



日本教育大学院大学教授  
河上亮一

## 巻頭言



現在私たちは、豊かで個第一の自由・平等な社会を享受している。しかし一方で、「危機は来ない」という安易な考えに慣らされて、根本的な議論から逃げてきたことも事実である。今回の大震災は、そのような私たちの生き方を打ち砕くことになった。

教育の世界でも、この三十年、甘い耳ざわりのよい言説が支配的になり、危機的な現実から目をそらすことになっている。「子どもが主人公だ」「押しつけはだめだ」「個性を伸ばすことが第一だ」等々。私は今回の大震災に直面し、それぞれの現場で、直面する現実と取り組むべき課題を報告し、物事を根本から考え直して、自分の言葉で発言することが必要だと考えている。学校現場では、その責任は教師が担わねばならない。あなたまかせでは危機を先送りすることにはかならないだろう。

学校教育について私が考えていることをまとめてみよう。私は、教育を三つの段階に分け、それぞれの役割を限定的に考えることが議論の出発点と考えている。第一次教育（家庭・地域社会が担う自律と共生の基礎教育）、第二次教育（学校が担う国民・市民形成）、そして第三次教育（個人が一生かけて追求する人格の完成、個性の開花にかかわる自己教育）の三段階である。

学校は近代になって国家がつくったシステムの一つである。近代的な国民・市民を育成すること

## 学校教育を再構築するための哲学

が目的でつくられた。教育基本法にも「人格の完成」と「国民の育成」が教育の目的であると謳っている。学校教育の目的が「国民の育成」にあると考えるのは自然だろう。そのために、教務教育の学校は、基礎的な知識・技能・生活様式等を、すべての子どもに一律、強制的に身につけさせることが要求される。子どもにとっては基本的につらく厳しい場にならざるをえない。それは近代社会が要求する厳しさから来るものである。

そもそも人間は本能が壊れた存在で、本能に代わる生活の仕方（文化）を創造しなければ生きていけない。子どもには文化を身につける本能など備わっていないから、大人の側が文化を押しつけざるをえない。つまり、教育は基本的に「強制」なのである。子どもにとっては「暴力的」「理不尽」なものであり、大人にとっても極めて苦しい事業ということになる。しかし大人の側がそれにひるんでしまえば、子どもが社会で生きていくことは難しいだろう。その意味で、教育は人間にとって宿命的なものであり、「苦業」と言ってもいい。学校の厳しさは教育の本質にも規定されているのだ。私は、以上の点を再確認し、学校教育を再構築することが急務であると考えている。議論の材料にしていただければ幸いである。

夫婦が一つになることが家族関係の中心

# 「家族力」をつくる二つの源泉

## 「愛、コミュニケーション、絆」

困難な状況でも家族が心を一  
つにして乗り越える「家族力」。  
日本は今、本当の「家族力」に  
めざめる時だ。

### 困難な状況を 乗り越える力

——『家族の実力』（幻冬舎、二〇〇七年）という本を書いておられますが、一言で言うところ「家族力」とは何でしょうか。

人生の本当の実力というのは、苦しい時、困難な状況の時にそれをどう捉え、どう乗り越えるかで試されます。それを家族で考えると、苦しんでいる人を家族がどれほど支えることができるか、家族の困難な状況を心一つにしてどう乗り越えていくか。それが本当の家族力だと思っています。

では、家族力を形作るものは何

か。キーワードは三つあります。それは「愛」、「コミュニケーション」、そして「絆」です。これが家族力の源泉だと言えます。

当然のことですが、最終的には「絆」です。その絆ができるためには、家族間のコミュニケーションがうまくいっているかどうかポイントです。

それから、家族がスタートする時に「愛」が存在したかどうかです。ただし、愛さえあれば力を発揮できるかと言うと、そうとは限りません。愛が私の実感です。愛し合って結婚した夫婦が、十分なコミュニケーションがとれない家族になってしまったら、家族の絆をつくれなくなってしまいます。



柏木哲夫

かしわぎ・てつお  
金城学院大学学長

1965年大阪大学医学部卒。同大学精神神経科に3年間勤務し、主に心身医学の臨床と研究に従事。その後3年間、米ワシントン大学に留学。帰国後、淀川キリスト教病院に精神神経科を開設。同時にターミナルケア実践のチームを結成。同病院副院長、ホスピス長、大阪大学人間科学部教授等を経て、2004年4月より金城学院大学学長。現在、学院長を兼務する他、大阪大学名誉教授、淀川キリスト教病院名誉ホスピス長、日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長。著書に『癒しのユーモア』『生きていく力』『人生の実力』『家族の実力』他多数。



関係がうまくいっている夫婦には「ありがとう」「ごくろうさん」「ごめんなさい」の三つの言葉が交わされている

もちろん、かつてお見合い結婚が一般的だった時代は最初から愛があったわけではなく、結婚生活の中で愛を育んでいって、コミュニケーションがきちんととれるようになり、絆がしっかりしていききました。そういうプロセスもあります。

——家族のコミュニケーションでは、「ありがとう」「ごめんなさい」「ごくろうさま」といった言葉があ

る夫婦とない夫婦では違いがあるということですが。

### 夫婦の間で大切な三つの言葉

私はホスピスで約二千五百名の患者さんを診てきましたが、看取りの現場でご家族が臨終の床にある患者さんにかかる言葉、逆に患者さん自身が最期の言葉としてご家族にかける言葉があります。これらはまさに人生の凝縮です。

例えば、ご主人の意識が低下していつて亡くなられるのが近いという時です。奥さんにはご主人の死を受け入れていただかなければならないので、「辛いですけど、近いと思います」と声をかけます。

その時に「先生、耳は聞こえますか」と言われるので「聞こえますよ」と言うと、最後の言葉で「お父さん、ご苦労さんでした」と言われる。その言葉は、ご主人が今まで家庭のために、子供を育てるためにご苦労されたことへの、ねぎらいの表現なのです。

また、ある中年のご婦人が意識が薄れていく中で、ご主人に「お父さん、ごめんね」と言われたのです。それがどういう意味なのか私は分からなくて、後でご主人に伺ったことがありました。本当は歳が若い奥さんのほうがご主人を看取らないといけないのに、あなたに看取っていただく。このことを許してほしいと。それが「ごめんね」の意味だと思われられていました。

もちろん、奥さんがご主人を看取る場合も、「今まで本当にありがとう」という言葉が出ると、私はとてもほっとします。

「ありがとう」という感謝、「ごくろうさん」というねぎらい、「ごめんなさい」という謝罪の言葉。この三つの言葉は、こちらが心が安堵する言葉ですね。

逆に、ふだん夫婦関係がうまくいかない原因は、この三つの言葉が使われていないからだと言えます。

子供の年代によっても違うのですが、少なくとも夫婦が何でも話

# 夫婦のコミュニケーションが うまくいっていることを子供 たちが見て育つことが大切

し合っているという、夫婦のコミュニケーションがうまくいっていることを子供たちがきちんと見て育つということが非常に大切だと思います。そして家族全体が何でも話せるという雰囲気がある家族にあるかどうかということが、家族が一つになる一番の鍵ではないでしょうか。

## 父親が働く姿を見せる

——家族力を発揮するためには、夫、父親のあり方を見つめ直す必要があるのでしょいか。父親の育児参加が言われるようになって、休日にはできるだけ子供と接するとか、時間的な接触という点では日本でも改善してきていると思います。

しかし、それ以上に大切だと思うのは、父親の心が本当に家庭に向いているかどうかです。それが決定的だと思うのです。

それからもう一つ、大切なのは父親の役割を子供に見せる努力をすることだと思っています。父親

には子供と社会をつなぐ役割があるにも関わらず、それがなかなか子供に見えないわけです。

米国での経験ですが、小学二年生ぐらいの男の子が不登校になってしまいました。父親は自動車の整備工で、朝から夜まで忙しく働いていました。子供は、夜遅く帰ってきて、食事をしてテレビを見て、そのまま寝てしまうだけの父親しか見ていなかったのです。

治療のプロセスの中で、私が指導を受けた教授は「子供に父親が働いている姿を見せなさい」と言われました。母親もそんなことで治るのかと疑問に思ったのですが、主治医の勧めだということで、父親には内緒で仕事場に子供を連れていきました。

そして、車の下に潜り込んで油まみれになって働く父親の姿を見せたのです。それを二週間ぐらい続けました。それだけなんです。すると、その子は学校に通い始めたのです。言葉では何も言っていない。父親の働く姿を見て、子供なりに何かを感じたのでしょう。

私も日本に帰国してから、子供が反抗期で反抗的な態度がちょっとひどく出てきた時に、私が働いているところを見せた経験があります。すると子供の態度が落ち着いたということがありました。こうしたことも父親の大切な育児参加だと思っています。

## 「平安」の言葉に 込められた意味

——人間は家族や地域社会の横の関係から得る横の平安と、神や自然との縦の関係から得る縦の平安が必要だと語られています。このことを説明していただけないでしょうか。

私は還暦を過ぎてから「言葉」に対して非常に敏感になりました。例えば「人生」という言葉をじつと見ていると、「人として生まれる」と書いてある。それから「あつ、人として生きる」とも読めるな」と。一つの漢字でも、それを掘り下げたり広げたりする癖がついてきました。

# 人間には家族関係からの「横の平安」と神や仏、超自然的存在からの「縦の平安」が必要

そういう思いで文字を見ながら、「安心」「安全」の「安」の字には使いが三つあると気づいたので「安全」という言葉と「安心」という言葉があります。

「安全」には物質的な雰囲気があります。いわば体の面です。「この自動車、安全ですか」というように、身を守ってくれるかということを表示します。

「安心」というのは、心が安らかということですから精神的な意味合いがあります。

一方、山の中を歩いていて「とても平安な気持ちになりました」ということがあります。そういう場合、「安心しました」とは言いません。「平安な気持ちがある」ということなのです。これは私は「魂」だと思っています。

よくスピリチュアルケアと言われますが、「スピリチュアル」という言葉は、キリスト教で言う「スピリット」、つまり魂の分野です。例えば末期の患者さんから「私、死んだらどうなるんでしょう」とい

う質問をされます。これは魂の部分から来ていると思うのです。

こうした前提で「平安」を説明すると、家庭に父母がいてくれることで子供は安心します。そういう意味では家族や友人といった横の関係から得られるものは「横の平安」です。

それに対して、深い人生の悩みや不安に陥ったら「横の平安」だけでは解決できないことがあります。本当に辛い時には孤独になり、誰にも相談できなくなり、そのような時に答えてくれるのが「縦の平安」です。この場合の「平安」は、人間を超える、神や仏、超自然的な存在といった上から下にくる作用軸ではないかと考えています。人間にはこの縦横の平安が必要なのです。

例えば大学で年に一回、メサイアを聞くのですが、ハレルヤコーラスを自分で歌ったり聞いたたりしていると自然に涙が出てきます。そういう時、ハレルヤコーラスは心というより魂に響いているのです。本当の宗教音楽と言うのでしょうか

か、ある一定の基準にある音楽は魂に響くと思うのです。

## 家族、地域が大切と 気づかされる

——日本人の中には家族の力がより良い社会をつくるというよう  
な意識はあまりなかったと思いま  
すが、今回の震災で変わってきた  
ような印象があります。

それは強く感じます。今回の震災で家族の絆、地域社会の助け合いが大切だということに誰もが気づかされました。

私は今、住んでいる地区の組長をやっているのですが、こういう時だからこそお互いを知り合ひましょうと地区全体の集会を呼びかけたところ、全家庭から集まりました。ですから地域を何とかしようというニーズはあるのですね。しかし、家族同士を束ねる力がなかったわけでは

そういう意味では、今は日本が大きく変わる機会だと思います。■

# 「濃い家族関係」で 心の病を解決する

人間関係が薄くなった分、私たちの心の栄養が足りなくなっている。人間関係の基本は家族。濃い家族関係を作るにはどうすればいいのか。

## 人間関係を無意識に薄くしている

私は、臨床心理士として、長年にわたり学校や企業での研修やカウンセリングをおこなっています。その中で感じることは、心の病気とか問題を抱えているというわけではない普通の人たちの心が疲れており、エネルギーが低下しているということ。私が大学の教員をしていた時に、私の学生時代に比べて、学生たちが遊ばないことに驚いたことがあります。他

いる暇がない、というよりも、遊びたいとか、楽しいことをしたい、という意欲に欠けている、そんな印象をもったことを覚えています。

こうした心の病気の予備軍といってもいいような、日本中に蔓延している心のエネルギーの低下状態を改善していくことが、うつ病や自殺、不登校などの問題の解決につながるのではないかと考えています。

では、こうした心のエネルギーの低下は、なぜ起こるのでしょか？心の傷は人間関係の中で受けることが多いものです。ですから、多くの場合、人間関係を悪く

しないように、出来るだけいい関係をもちたいとします。そうすれば、傷つくことも少なくなるし、心も平安でいられるからです。

ところで、人間関係には、良い関係と悪い関係の他に、もう一つの軸、濃い関係と薄い関係という軸があります。そして、悪い関係を良くするためには、関係を薄くするのが一番簡単な方法です。つまり、毒も薄めれば毒ではなくなる、というイメージです。だから、関係を良くしようとして、無意識のうちに関係を薄くしてしまいかないが、スープの冷めない距離

ならば仲良くなれる、というのもそうですし、「亭主元気で留守がいい」というのは、薄くて良い夫婦関係の象徴的な言い方でしょう。そうやって、地域の結びつきが薄くなり、親戚関係も薄くなり、兄弟や親子、夫婦関係も薄くなってきているように感じられます。

## 心の栄養が足りない

でも、ここに落とし穴があります

### 塚越克也

つかこし・かつや  
臨床心理士

1963年生まれ。九州大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士課程。九州女子短期大学と駒沢女子大学の教員を経て、現在は株式会社オルタナティブ教育研究所代表取締役。心理マネジメントコンサルタントとして、学校や企業での研修やカウンセリングをおこなっている。また、公立学校でのスクールカウンセラー歴は15年で、現在も本業の傍ら、東京都スクールカウンセラーとして都内の中学校に勤務。





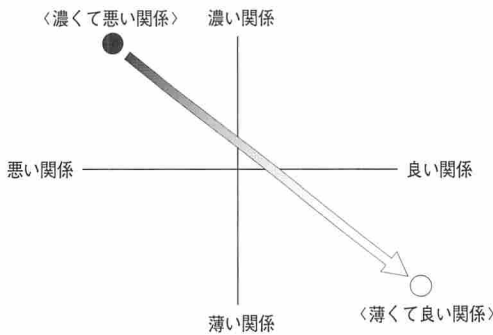
す。毒も薄めれば毒ではなくなり  
ますが、栄養も薄くすると栄養で  
はなくなってしまう、ということ  
です。心の毒は人間関係から来ま  
すが、心の栄養も人間関係から来  
ます。人間関係が薄くなった分、私  
たちの心の栄養が足りなくなつて  
いるのではないのでしょうか？体の  
栄養が足りなくなると、元気が出  
なくなるし、病気や怪我をしやす  
くなるし、病気や怪我をしても治  
りにくくなってしまいます。心も  
同じです。心の栄養が足りなくな  
ると元気が出なくなるし、心が傷  
つきやすく、病気になりやすくな  
ります。日本中で人間関係が薄く  
なつてきている分、日本人全体が  
心の栄養不足に陥り、心のエネル  
ギーが低下して傷つきやすくなり、  
心の病気が増えていつているよう  
に感じられるのです。

濃くて悪い関係と薄くて良い関  
係のどちらが心の健康にとつて良  
い状態なのでしょう？私は、薄  
くて良い関係よりも、濃くて悪い  
関係の方が、つまり毒にも栄養に  
もならない関係より、毒もあるが

栄養もしつかりとれる人間関係の  
方が、心の健康には良い影響を与  
えるように思うこともあります。も  
ちろん、一番良いのは、濃くて良  
い関係です。

ただ、ここで問題になるのは、濃  
くて悪い関係は、何かのきっかけ  
で濃くて良い関係にストレートに  
変わる可能性があるが、薄くて良  
い関係がまっすぐに濃くて良い関  
係になることはない、ということ  
です。薄くて良い関係を濃くしよ  
うとすると、必ず毒が出てきます。  
その毒を解毒して取り除いて、い  
い方向にもつていき、また濃くし

### 濃い薄いの関係も含めた人間関係



ていくと毒が出てきて…、という  
ことを繰り返す中で、濃くて良い  
関係が作れてきます。つまり、薄  
い関係を濃くしようとすると、一  
時的に関係が悪くなることが多い、  
ということなんです。その一時的に出  
てくる毒が嫌で、皆関係を濃くす  
ることをためらい、薄い関係のま  
まになってしまふのです。以上を  
まとめたのが、上記の図です。

### 親へ感謝の手紙を書く

人間関係の基本は家族関係です。  
家族関係が薄い人は、他の人間関  
係も薄くなりがちですし、家族関  
係が濃い人は他の人間関係も濃く  
なつていきます。ですから、濃い  
人間関係を作つていこうと思えば、  
まずは家族関係を濃くしていくこ  
とが必要です。

くことを授業の課題にしたことが  
ありました。ただし、その手紙を  
実際に出すかどうかは本人の自由  
です。半分ぐらいの学生は、課題  
で書いた手紙を親に送つていまし  
た。すると、親子関係に変化が起  
こり、学生自身の気持ちも変わっ  
てきます。ある学生は、生まれて  
すぐに両親が離婚し、一度も会っ  
たことがなかった父親に感謝の手  
紙を送りました。それをきっかけ  
に父親との交流が始まったのです。

その学生は様々問題を抱えていた  
のですが、父親との交流をきっか  
けに問題は解決していきました。  
家族関係が濃くていい方向に変  
わると、他の人間関係も自然とい  
い方向に変わっていくことが多い  
ように感じられます。家族関係を  
濃くしていくプロセスの中では、問  
題がおこつてくるかもしれません。  
でも、それを越えて濃い家族関係  
を作つた時に、本当の心の元気が  
得られます。そして、日本中の人  
間関係が濃い関係になつた時、心  
の問題は解決していくことではし  
ょう。

私自身、大学の授業やカウンセ  
リングなどでも、家族関係を濃く  
していくことを勧めています。私  
が大学の教員をしていたころ、親  
に対して生んでくれたこと、育て  
てくれたことへの感謝の手紙を書

## 指導者育成機関を 持つフランス

先進国の中で指導者教育に特化した教育機関を持つているのは「エリート」という言葉を生んだフランスだ。

フランスのエリート教育を受けた人物で二十一世紀に入り、注目を集めたのは日産自動車のCEO（最高経営執行者）に就任したカルロス・ゴーン氏。彼はレバノン人だが、フランスが誇るエリート校ポリテクニク（理工専門学校）で教育を受けた生え抜きだ。

フランスの高等教育は大学とグランゼコールによって構成されている。グランゼコールは高等教育専門機関で、高校卒業資格試験（バカロレア）で高得点を得た学生のみが高校卒業後、通常二年間準備学級で学び、その後、各グランゼコールの入学選抜試験を受けて入学が許可される。一方、大学はバカロレア取得後、入試なしにどこかの大学にも入れる。

ワールド・アフェアーズ

# ヨーロッパで生きる 指導者教育の伝統

指導者の資質に大いに疑問符が投げかけられている日本では今、指導者教育の不在が指摘されている。一方、欧州には指導者層の育成を重視する伝統がある。フランスと英国の取り組みを紹介する。

在仏ジャーナリスト・辰本雅哉

全国に約二百校のグランゼコールがあり、定員は数十人から二百人程度で、実際、高校卒業生全体の二〜三%のみが行ける難関だ。グランゼコールは、アカデミックな教養ではなく、専門性の高い実践

的教育に重きを置き、同時に指導者としての公的責務や道徳、直面する問題への状況把握力、分析力、判断力、解決能力などを学ぶ。

フランス・エリート教育機関の代名詞的存在の国立行政学院（E

NA）の卒業生（通称エナルク）は、シラク前大統領やフィヨン現仏首相、カムドシユ元国際通貨基金（IMF）専務理事など、政・官・財、国際機関トップの地位を形成している。一方、ゴーン氏の卒業したポリテクニクの卒業生の多くは国营企業や民間企業のトップの座に就いている。

ポリテクニクの学生は、七月十四日の革命記念日に、シャンゼリゼ通りを軍服で行進する。これは国家への奉仕を表す愛国教育でもある。

フランスは、「ノブレス・オブリージュ」高貴な者の義務という指導者道徳を説いた極めて指導者教育に熱心な国である。その源流は中央集権化が進んだナポレオン時代に遡り、国家指導者育成が国家的意図を持って、今も息づいている。

グランゼコールのパリ政治学院で教鞭をとっていた日本近代史の権威、エスマン教授は、明治維新时期に活躍した勝海舟や坂本龍馬などの人物伝を教え、維新期の日本のリーダーが、どのような思想を

持ち、どのように具体的に行動したかを教えていた。指導者論はフランス国内に止まらず、世界の指導者の行動を学んでいる。

## 公共の奉仕者であり 国民を導く指導者

グランゼコールのもう一つの重要な教育は、決断者としての教育で、状況分析、方針決定、確固たる意志を持って決断する意志決定者としてのあり方を実務レベルで学んでいる。無論、物事を判断するための高い見識や強いマインド、人の動かし方、危機管理なども学ぶことになる。

国民は、すべてのグランゼコールとは言わないまでも、エリートを象徴するグランゼコールの卒業生を尊敬している。それは彼らの優れた頭脳にだけでなく、彼らが公共の奉仕者であり、国民を導く指導者と受け止めているからだ。

無論、冷戦終結以降、世界はイデオロギーの時代から経済の時代に移行した。そのため、グランゼ

コールでも、商業系のグランゼコールに人気が集まっている。ビジネスのスペシャリストを養成する高等商業学校（HEC）や上級商科学校などの志願者が一九九〇年代以降、急増し、HECでは本科と別にMBA経営管理修士コースを併設している。

フランスとアメリカのビジネススクールの違いは、アメリカがハーバートのビジネススクールを頂点とするピラミッド型なのに対し、フランスの場合は目的に応じて、いくつもの種類のビジネススクールが横並びしていることだ。また、欧州統合とともに欧州連合（EU）の指導者教育も充実を図っている。

例えば、その典型的な学校がイタリア・フィレンツェにあるヨーロッパアン大学院大学だ。この学校はEU加盟国が出資して設立した大学院大学で、ヨーロッパ中のトップクラスの学生が集まっている。同大学のスナイダー教授欧州法によると、多くの卒業生が欧州委員会や欧州中央銀行などで欧州官僚として働いているという。

この大学は授業が全て英語ということもあり、英国からの学生も少なくない。その英国も優秀な学生の伝統的エリート校であるオックスブリッジ（オックスフォード・ケンブリッジ）で知られている。ただ、最近ではロンドン・スクール・オブ・ビジネス、海外では米ハーバードなどのビジネススクールに優秀な人材が流れる傾向がある。

## 英国のパブリック スクール

英国の伝統的エリート教育を考へる場合はオックスブリッジよりは、パブリックスクール（全寮制私立中等教育機関）を見ておく必要がある。というのも英国はフランスと違い、教育の平等性原則が弱く、貴族的階級社会が存続しているからだ。十三歳から十八歳まで毎年、日本円にして年間約三百五十万円以上払える子弟に入学が限られている。

例えば、ブレア元英首相はオックスフォード大法学部卒だが、フェ

テス・カレッジというスコットランドの名門パブリックスクール出身だ。キャメロン現英首相も名門イートン校からオックスフォードに進んだ。全国二百三十校あるパブリックスクール中、九校がグレート・ナインと呼ばれる名門校だ。

この名門パブリックスクールを出た学生が最近、オックスブリッジよりは、ビジネススクールを目指す傾向にある。ビジネススクール全盛の裏には、アメリカの自由市場原理に基礎を置くグローバル化が存在する。脱イデオロギーの時代における指導者とは経済の専門知識を持ったゼネラリストであるべきという考えも強まっている。

しかし、欧州では、公共性を重視し、深い見識と高いモラルを持ち、高度な専門知識を持って国に奉仕する指導者育成の必要性に疑問を投げかける声はない。大衆教育を優先するアメリカとは異なり、ヨーロッパには、特別に教育され、専門知識と指導者の資質を持った指導層の育成を重視する伝統が残っているからだ。E

厚生労働省「人口動態統計」

# 合計特殊出生率1.39に上昇 30代出産増が要因、晩婚高齢出産続く

二〇一〇年の合計特殊出生率（人の女性が生涯に生む子供の数の推計値）は一・三九で、前年より〇・二ポイント上昇したが、厚生労働省が六月一日に発表した人口動態統計（概数）で分かった。ただ人口は減少しており、少子化

の要因とされる「晩婚化」「高齢出産」の傾向も続いている。合計特殊出生率は過去五年、上昇が横ばいだった。要因として三十歳代の出産や第二子以降の出産

に必要なら二・一は大きく下回った。また、年代別でも最近は三十三歳が二十五歳より高年齢出産が進行していることを示している。

十歳代の出産や第二子以降の出産がわずかに増えているためだと指摘されている。ただ、人口の維持

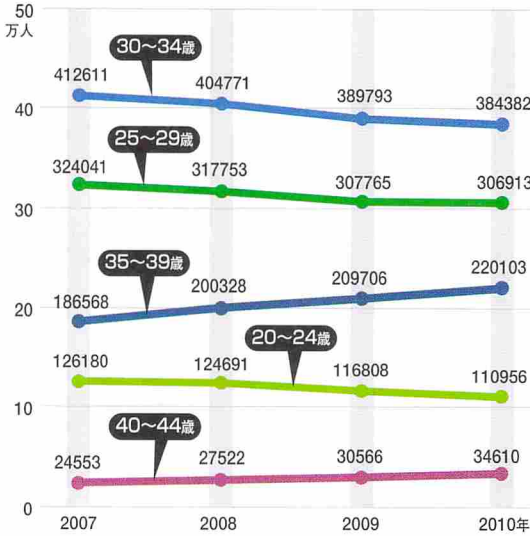
全体の出生数は百七万三千三百六十六人（前年比千二百七十一人増）で、

また、婚姻件数は七十万二千二百三十三組（同七千五百二十一組減）。平均初婚年齢は夫三十三・五歳、妻二十八・八歳で、夫は前年より〇・一歳、妻は前年より〇・二歳上昇。この二十年間でやはり二歳以上上昇した。

母親の年齢別（五歳ごと）を見ると、三十五～四十九歳の各年代で三年続けて増加している一方、三十四歳以下では減少した。第一子出生時の母親の平均年齢は前年より〇・二歳高い二十九・九歳。一九九〇年が二七・〇歳で、この二十年間で三歳近く上昇したことになる。

一方、死亡数は百十九万七千六百六十六人（同五万五千二百一人増）で、人口の自然増減数はマイナス十二万五千七百六十人だった。人口の減少は四年連続。

母の年齢別にみた出生数の推移



平均初婚年齢の推移



厚生労働省「平成22年人口動態統計月報年計（概数）の概況」

離婚件数は二十五万三千三百八十三組（同千九百七十組減）、離婚率（人口千人あたり）は一・九九で、前年の二・〇一を下回った。

内閣府「結婚・家族形成調査」

# 未婚化の背景に経済不安や出会いの減少 長期的展望の結婚支援策が必要に

結婚していない若者の多くは結婚したいと思いつながら、経済的理由や異性と出会う機会が少ないと

理由で結婚していないことが内閣府の「結婚・家族形成に関する調査」で分かった。

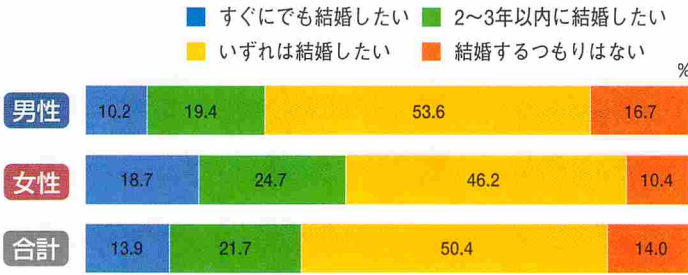
調査は未婚の若者にインターネットやグループインタビューで行ったもの。未婚者のうち、八六％が

また恋人がいる人でも「結婚後の生活資金が足りないから」と経済的理由を挙げる人が多い。三十代後半の地方在住男性や理系大卒者で未婚者割合が高く、経済力や出会いの機会の格差がもたらす、結婚の二極化傾向が見られた。

「子供を何人欲しいか」との問いでは、「二人」が最も多かった。一方、「欲しくない」とする人が全体の一三・六％存在し、三十代後半の女性未婚者では三〇％に上った。欲しくない理由として、女性は「子育てをするのが大変そう」、男性は「経済的余裕がない」が最も高かった。調査をまとめた中央大学の山田昌弘教授は、まず若者の雇用の安定を図ることで、結婚への経済不安を取り除く必要があるとしている。

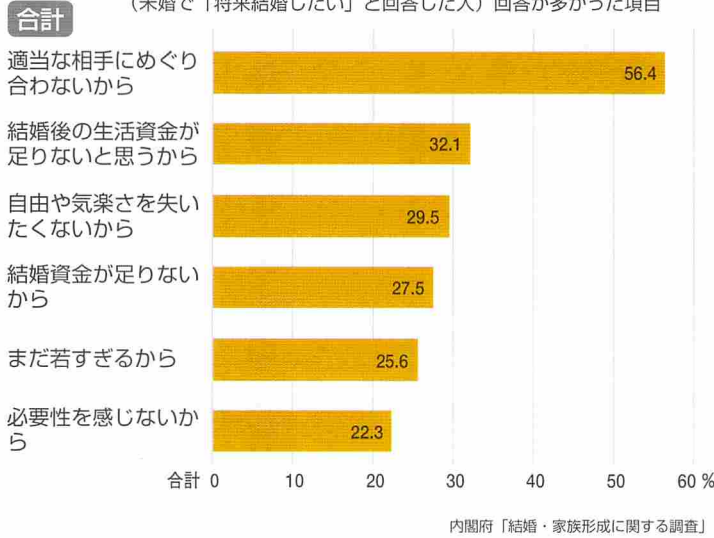
また「結婚をしたくない」「子供を欲しくない」という人が一定割合いることから、今後は結婚や家族を形成することの価値を示していくことが大切だ。若者への経済支援など長期的展望の結婚支援策が必要と言えそうだ。

## 将来結婚したいと思うか



## 今まで結婚していない理由

(未婚で「将来結婚したい」と回答した人) 回答が多かった項目



内閣府「結婚・家族形成に関する調査」

「将来結婚したい」と回答し、結婚意欲が高いことが分かった。ところが結婚意欲がある未婚者のうち、恋人がいる割合は三六％。残りの恋人がいない六四のうち、一度も交際経験がない人が二六％に上った。

「子供を何人欲しいか」との問いでは、「二人」が最も多かった。一方、「欲しくない」とする人が全体の一三・六％存在し、三十代後半の女性未婚者では三〇％に上った。欲しくない理由として、女性は「子育てをするのが大変そう」、男性は「経済的余裕がない」が最も高かった。調査をまとめた中央大学の山田昌弘教授は、まず若者の雇用の安定を図ることで、結婚への経済不安を取り除く必要があるとしている。

# 「死を通して生を考える教育」がなぜ必要なのか

子供たちの問題行動の背景には「死の意味が分からない」「ことがあるのではないか。」「命を大切に」と言うだけでは子供の心に残らない。

## 「死んでも生きる」という子が二割

私は十年ほど前から「死を通して生を考える教育」(デス・エデュケーション)を実践してきました。

始めたきっかけは、子供たちの問題行動に対する強い危機感からでした。暴力、いじめ、自殺などが多発しているのは、死を考えなくなったことがあるのではないかと、死という問題からあまりにも遠ざかっていることが要因になってい

るのではないかと考えたのです。数年前、長崎県佐世保市で小学六年生の女の子が同級生を殺害するという事件がありました。加害者の女の子は「亡くなった子に

会って謝りたい」と言っていました。それを聞いて、この子は死ぬということの意味が分かっているのではないかと思いました。また秋葉原での無差別殺傷事件でも、成人ではありますがやはり根本に「死を知らない」ことがあるのではないかと感じます。

実際、私が大学の学生たちにデス・エデュケーションの話をすると、「こんなことは考えたこともなかった」という感想が多くありました。

以前、都内の小学生に調査したところ、「死んでも生き返る」と考えている子供が二〇%いました。学校で話をさせてもらうたびに聞いているのですが、「死んでも生き返る」という子供が二〇%以下だっ

た小中学校は一枚だけです。後は全て二〇%を超えていました。高校生では約一〇%。大学生でも一%ぐらいいます。

過去の研究では、子供における死の認識は、ほぼ九〜十歳までに大人と同様のレベルまで発達します。しかし、調査結果を見ると、そうなっていないわけです。これは大きな問題だという気がします。

家庭や教育現場では命の大切さを教えようとしています。しかし「命を大切に」と唱えるだけでは子供の心に残らないのではないのでしょうか。生を大切にしようと思っ

と小学校で話すと、子供たちは十分理解してくれます。

## 親子で一緒に祈り 思い出を話す

この教育では、まず「死について考える機会をいかに増やすか」が鍵だと考えています。

一つは動物の死だと思えます。例えばペットが死んだら、庭の片隅に「○○ちゃんの墓」を造って、親子で一緒にお祈りする。それでい

## 中村博志

なかむら・ひろし  
日本女子大学元教授

1936年東京生まれ。日本大学医学部卒業。日本大学客員教授、重症児施設「むらさき愛育園」園長、国立療養所足利病院院長、日本女子大学教授、東京純心女子大学特任教授等を務める。医学博士。死を通して生を考える研究会会長、日本小児精神神経学会理事、日本重症心身障害学会理事、比較心身症研究会会長。著書に『死を通して生を考える教育』『女子大生のための小児保健学』他。



いのです。そうすれば「命は大切です」と何百回教えられる以上に、子供の心に強く残ります。

もちろん、肉親など身近な人の死、つまり「二人称」の死(悲しい想いを伴った死)をどのように理解させるかはもつと大切です。

肉親の死の場合、その場面から子供を遠ざけるのではなく、子供たちに見せて、例えば「おじいちゃんをよく、あなたのことを可愛がってくれたね」「どこどこに一緒に行っただね」という話をするのだと思うのです。

学生が感想によく書いてくれたのが、祖父母のお葬式の時、ご遺体に母親が泣きながら取りすがっている姿でした。子供には祖父母を想う親の行動が強い印象を与えるわけです。

また、亡くなった肉親の手を握りしめてあげる。そうした経験を持つ学生は、「あの時のおじいちゃんの手冷たさは今でも私の手に残っている」と言うのです。そういう体験も大きな意味があるだろうと思います。



親子で一緒にお祈りすること  
もいい

デス・エデュケーションは決して難しいものではありません。例えば、私の講演を聞いてくれたある母親ですが、家に帰る途中で夕飯の味噌汁の具にアサリを買っていったそうです。そのアサリを鍋に水を浸して入れておいた。そのうちにアサリは開きます。すると四、五歳になる娘がそのアサリに触って遊んでいたというのです。その晩、味噌汁を食べながら、母親は娘に「私たちはこのアサリを食

べながら生きているんですよ」と言ったそうです。これも立派なデス・エデュケーションです。

もう一つ、食事の際の「いただきます」は、仏教では「他の生物の命を頂きます」という意味です。これを子供に教えてあげるだけでもいい。私たちの回りにはこうした材料が多くあるわけです。

### 「人々の関係性」に 気づく

こうした教育の成果として、私は二つあると捉えています。

一つは、死を考えることによって、自分を見つめ直し、「生きがい」を見出すきっかけになっているということ。

もう一つは、死を考えると結果として「人間は一人では生きていけない」と気づきます。そして家族をはじめ「周りの人との関係性」に気づくわけです。このことがとても重要だと思えます。

こうした意味で、私は「死を通して生を考える教育」を「児童健

全育成運動」と位置づけています。ところで、デス・エデュケーションを行う場合、諸外国では宗教が前提にあります。

一方、日本では一神教の人はそれほど多くありません。そこで一つの手法として、生物学、細胞遺伝学を用いることを考えています。

細胞遺伝学を勉強してみると実に面白いですね。筑波大学の村上和雄先生は「サムシンググレート」という言葉を使っていますが、遺伝学を研究してみると何らかの神的なものを見出さざるを得ない。それを先生はサムシンググレートと呼んでいるのかと思います。

例えば、四つの塩基の配列で動物の種類が決まってくる。誰がこのようなことを考えたのか。人間の体はどうしてこれほどうまく出来ているのか。不思議と言えば不思議です。やはり宗教的な何らかの裏付けは、あって当然という気がします。いわば科学を超えた部分というのでしょうか、それはデス・エデュケーションとつながるのではないかと思いますね。■

## 子宮頸がんワクチン、10代接種への疑問

# 危険な30代の子宮頸がん増加、超少子化への深刻な要因に

子宮頸がんワクチンの接種が「セックスデビュー前に打っておけば安心」と、子供たちに誤ったメッセージを与えかねない言い方で急速に進められている。米国では、「純潔教育の必要性を損なう」などの理由で見直しが進む同ワクチン接種の問題点を整理した。

ジャーナリスト・小山昭男

### 発症率が上がる原因

神奈川県大和市で先月下旬、同市の養護教諭らが中心となって、子宮頸がんワクチンを称賛する講演会が開かれた。講師は、同市南林間にある愛育病院産婦人科医院の岡田恭芳副院長。

子宮頸がんは、乳がんなど他のがんと異なり、三十代で発症率が極めて高くなっている点を指摘。通常、がんは高齢になるほど発症し

やすい。子宮頸がんだけ、こうした傾向を示すのは、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）が、性交渉によってのみ感染するためだ。岡田副院長は、発症率が三十代で高くなっている理由について「わが国のデータでは、十五歳から十九歳の女性の三二％がなんらかのHPVに感染している。言い換えれば、この子たちは、三二％以上の確率ですでに性交の経験があるということ、これが今の子供たち

の実態だ。そこから、どんどんどんどん発症率が上がっていく。従って、感染が起こる時期が早いから、進行する場合は進行し、三十代がピークになる」と説明。

そのうえで「子宮頸がんワクチンは、がんの発症を六、七割抑えられる画期的なもの」と評価した。実際、ワクチンで子宮頸がんの発症を抑えられるということから、「セックスデビューの前に接種を」と、安易な性交渉を是認するかのようない言いが、メディア等で流布するようになった。同ワクチンは約五万円だが、国・地方が折半し、十から十六歳位の間の子女・生徒に接種されている。

だが、これで性体験率がさらに高くなれば、子宮頸がんを発症する割合も多くなってくる。「六、七

割抑えられる」（岡田副院長）というのも過大評価だ。わが国で認可されたのは英製薬会社のワクチン（サーバリックス）だが、子宮頸がんの五八・八％の原因となっている十六型、十八型にだけ対応しているためだ。ちなみにHPVは百種類ほどあるが、がんの原因になるのは十五種類。加えて、子宮頸がんワクチンの効き目が何年間続くかも不明である。

### 人工妊娠中絶も危険因子

また、性交渉で感染するのはHPVだけではない。性体験率が上昇すれば、それだけエイズを発症するHIV感染や性感染症（STD）を引き起こしやすい。厚生労働省・エイズ動向委員会の報告によると、HIVの新規感染者数が昨年九―十二月で過去最大を記録している。

ティーンエイジャーの「望まない妊娠」も増え、そうすれば、人工妊娠中絶も増える。人工妊娠中絶が、体に悪影響をもたらすのは



必至である。

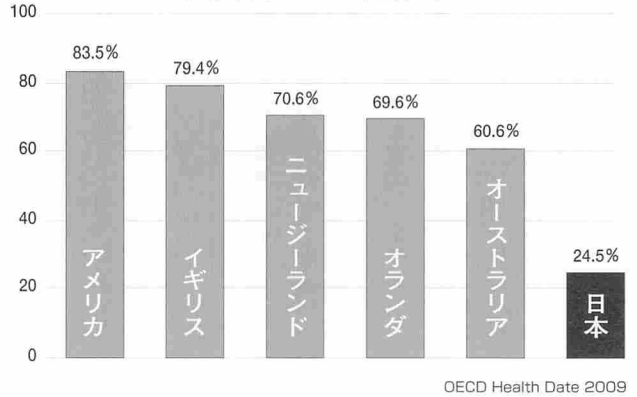
女性の八割が生涯に一度はHPVに感染するが、免疫力により自然に排除されている。世界保健機構(WHO)の統計によると、HPVに感染した女性のうち、子宮頸がんを発症するのは、〇・一五%に過ぎない。

HPVの感染で、子宮頸がんにまで発展する身体的誘因を持っていることが危険である。人工妊娠中絶で、身体の免疫力を低下させることは、その危険因子の一つである。

講演の後、十六歳の娘を持つ親から「安易な性交渉を慎むことを教える教育をすることの方が重要ではないか」との質問が出た。しかし、岡田副院長からは、結婚まで性交渉を控える教育により、子宮頸がん発症率を低下させたいとの意向は聞かれなかった。

さらに講演で岡田副院長は、定期検診の必要性に全く触れなかった。子宮頸がんの定期検診率は、欧米で七、八割の検診率を維持しているのに、わが国は、二四・五%

### 子宮頸がんの検診率



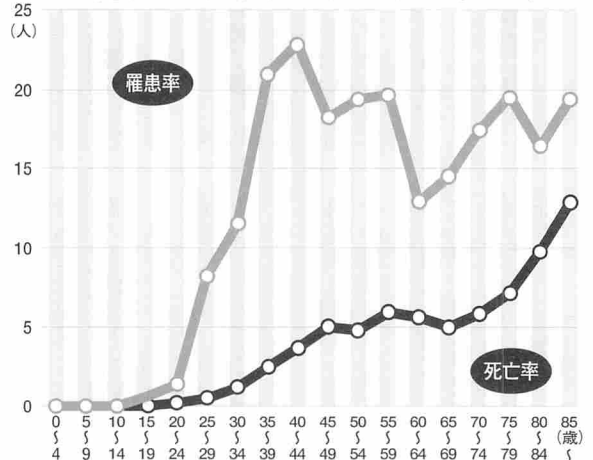
と極端に低い(図参照)。定期検診で、がんは有効に予防でき、がんを発症していれば、一〇〇%発見できる。ワクチンより定期検診に全力を挙げるべきだろう。

### ワクチンより自己抑制教育

米国では、二〇〇六年、子宮頸がんワクチンを全額公費負担で女性に投与しようとの気運が大半の

### 子宮頸がんの罹患率と死亡率

罹患率：2005年、死亡率2009年データ(人口10万人あたり)



国立がんセンターがん対策情報センター

州で高まった。しかし、長期的調査が不十分なこと、純潔メッセージを弱めかねないことから各州議会で論議がトーンダウン。現在、全額公費負担で行われているのはワシントンDCだけだ。

HPV感染からがん発症までは約十年。わが国では晩婚化が進み、三十代で出産する女性が増加しており、性体験の低年齢化は深刻な問題だ。出産時期とがん発症の時期が重なりやすいからだ。子宮頸

がんを発症すれば子宮摘出となり、少子化の誘因になる。最低、性体験する年齢を遅らせ、子宮頸がん発症がピークとなる年齢層の若年化を止める必要がある。

米国で昨年二月、自己抑制教育が、初交の時期を遅らせるのに顕著な効果があることが実証され、有力紙で報じられた。日本でも自己抑制教育プログラムを学校教育で継続的に実施すべきである。E

## ベドルジハ・スメタナ (1824～1884)

作曲したときは難聴だった「わが祖国」

音楽芸術の一つの頂  
に達した作曲家は、聴  
覚を失っても崇高な  
使命に生きた。

ジャーナリスト 池永達夫

### 聴覚を失う苦しみ

ボヘミアを謳いあげたスメタナの代表的作品「わが祖国」は、大河の流れのように滔々と静かに流れる調べだが、泣き出したくなるような哀しみとともに、堂々とした誇りをもそこに感じさせる音楽芸術の一つの頂を形成している。完成度の高い連作交響詩「わが祖国」は、実はスメタナが難聴に陥るといふ大変な精神的重圧の中で作曲されたものだった。

スメタナは「わが祖国」を作曲した後、スコアの最後に、「耳の病を患いながら、一八七四年十一月十八日」と記している。スメタナは担当医だった博士の指示で両耳に綿栓を詰め、かん高い汽笛のよ

うな耳鳴りに苦しめられながら書き上げたのが「わが祖国」だった。それは断食をする修道女が、周囲が分からないように顔に油をぬる作業と似ている。「わが祖国」には微塵も病の兆候や不自然さを感じさせることはない。

だが、スメタナの耳の病は、深刻だった。まず耳鳴りから始まり、難聴、そして最後は一切の音から切り離されていった。スメタナは奈落の底に落とされたような、地獄の苦しみを味わったと考えられる。なぜ私だけがという孤独感にも、さいなまれた。音楽家にとってもっとも重要な聴覚が損なわれたのだから、誰しも同じ立場に立てば動揺しないはずがない。この時、スメタナは同じ悲劇に襲われたベートーベンのことを度々偲んだ。そしてベートーベンという先

達がいいたことで、スメタナも人生最大の試練を乗り越えていった。

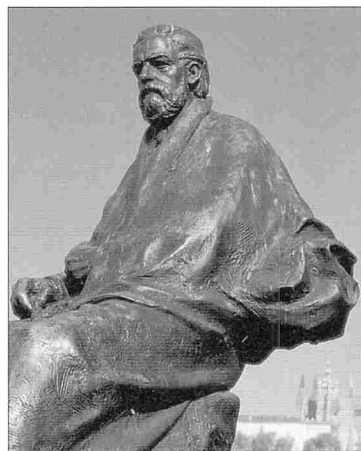
### 音楽の創造を使命に

聴力を失ったベートーベンはその

の過酷な運命に耐えながら、自ら命を絶つ誘惑に駆られながらもそれを断ち切り、音楽活動に打ち込んでいった。ベートーベン<sup>（なむわい）</sup>は生業としての音楽家ではなく、世に出ることを待ち受けている音楽を楽譜にして、人々に音楽の福音をもたらすミッションを、自分の使命として受け取った。パンを食べるための生業としてだけなら、耳が不自由でもそれなりの仕事はあったろう。だが、ベートーベン<sup>（なむわい）</sup>はパンのための音楽家ではなく、自分に与えられたミッションを果たすために作曲家としての道を再び歩もうと決意したのだ。

スメタナも同様だった。音楽の創造という、最も崇高な使命に生きようとスメタナは決意したのだ。ベートーベン<sup>（なむわい）</sup>は、ピアノにタクトを押し付け、それに嘯り付いてその振動で音を感じ取っているが、基本的には健常者だった頃、懸命に学び、さまざまな演奏体験を重ねたことで、耳が聞こえなくても身をもって蓄積してきた音楽への感受性を活かして、旋律や音階、合

# 病を克服した偉人たち



スメタナ=チェコ・プラハ (PIXTA)

奏の微妙な調和具合を頭脳の中で聞くことが可能だった。骨髄へツドフォンのような振動で聞く音はあくまで補助的役割でしかなかったのだ。その点は、スメタナも同様だった。スメタナは楽譜だけで音楽を堪能でき、頭の中の音楽イメージとして曲の再生ができた。

スメタナは元来、作曲の師プロクシが驚くほどよく学んでいた。そしてピアノの名手でもあった。さらに二十年近く指揮者としてタクトを振り続けた結果、楽譜やスコアを見ればその音が頭の中で鳴り、和音が合成され、作曲するときはピアノはいらなかった。

そして泉のように、創作のイン

スピレイションは常にあふれていた。だが、実のところ、作曲はそれまで多忙な指揮者の仕事の谷間を縫うようにしてしか、その時間がとれなかった。

だが聴力を失い、劇場での指揮者の地位を失った結果、皮肉なことに、一日の

## 苦難を越えて喜びを

全てを作曲にささげられるようになった。聴覚を失ったスメタナは、何の束縛も受けないで作曲という自由な新天地に解放されたのだ。

作曲はスメタナの人生を支える杖であり、生きる希望だった。悪夢の中にいるような状況の中で、スメタナは母国ボヘミアを讃えるオーケストラ曲を始めた。

「ブルタウ」に要した日は、わずか十九日だった。「わが祖国」の六曲の交響詩は七年をかけて作曲されマラソンのような経緯を考えると、実に短距離走にも似ていた。スメタナは「ブルタウ」の完成日の一八七四年十二月八日、「全くのつんぼになって」と書き添えている。

なおスメタナを理解する上で欠かせない大事な曲が「わが生涯から」だろう。正直、聴いて心が弾む音楽では決してない。しかし、わずか四本の弦楽器の響きで煩惱をかかえる人間が体験する「天国と地獄」を極限まで表現し尽くすのだ。

「苦難を乗り越えて喜びをつかめ」ベートーベンが残したこの言葉に、勇気づけられる人々は少なくない。それは単に力強い言葉ではなく、ベートーベンが死の谷から持ち帰った凱旋歌でもあるからだ。私はスメタナの作品「わが生涯から」が、ベートーベンのこの言葉に匹敵するのではないかと密かに思っている。■

# 出でよ、よき指導者！

鈴木博雄

すずき・ひろお  
筑波大学名誉教授

## 事実の率直な開示を

今回の東日本大震災は、東日本全域にまたがる津波や地震という自然災害と原発事故による放射能汚染という人工的災害とが同時に重複して起きた未曾有の危機的状態である。

三か月経た今でも避難している人は十万人に及ぶ。また被災者の住居、仕事などの生活問題が未解決のまま重くのしかかり、原発各機の危険な状況は依然として続いている。その上、集中廃棄物処理施設に溜まった放射能の汚染水が満杯状態になり、今にも溢れ出さなばかりの状況にある。

当初発表された工程表では、七

すべき時である。

その点で、これまでの対応の仕方を見ると、以下の諸点が指摘できる。

一、まず、進行する事態の変化に対する対応が常に遅れ気味であって、目下のところは予防までは行っておらず、結果として後始末に終始している。

二、個々の対策はそれなりの成果を挙げているが、全体としての対応を見ると、現実の事態の進行に遅れがちであるのは、組織に柔軟性を欠く点があるからであろう。

この問題は会議して物事を決定するだけでなく、事態の変化に即応して解決策を実施していくことが重要である。ケースによっては、抽速を尊ぶこともあり得ることを念頭に置いておくべきである。

三、当面の対策は一応の成果を挙げているようだが、この原発事故の性質から考えると、より長期的な視点からの対策をも同時に準備しておく必要がある。ここでは原発問題に対する国の基本的な姿勢を過去に捉われることなく、十分

な討議を重ねて、現在から未来にわたる展望の上に立って、明確に決める必要がある。

## 国民の先頭に立つべき指導者

以上のように、原子力エネルギーを国のエネルギー政策の基幹として位置付けているわが国にとつては、あらゆる観点から仔細に検討して、基本的な考え方を固めていくことが大切である。

我々は今、困難の真つ只中にいる。この危機意識を胸に秘めて、事態の打開に邁進すべき時である。そうした時に当たって、国民の先頭に立つて一身を顧みず奮闘する指導者の出現が心から待たれる。

日本の歴史は国民が国難に際して、優れた指導者の下に一致団結して難局を乗り越えてきた実績を示している。私は声を大にして叫びたい。

「今こそ出でよ、よき指導者！」と。目

## 子育ては＊絵本で＊大丈夫

\* 11



浜島代志子  
劇団天童/  
天童芸術学校代表

ぼくが目になろう！はなればなれにならないこと、みんな持ち場を守ること。

「スイミー」



「スイミー」レオ・レオニ作、  
谷川俊太郎訳、好学社

手喝采！スイミーはみごと  
なりーダーとなりました。

この場面、子どもたちの  
目の輝きは素晴らしいです。  
「そうだ、やれ！」なんて気  
合を入れる子どももいます。  
スイミーになりきっています。

す。こどもの感動を引き出  
すためには、読み手が感動  
して語ることが絶対条件です。淡々  
と文字を追ってゆく読み方、語り  
方では感動はつたわりにくいです  
ね。

◇ ◇ ◇

ひとりぼっちで暗い海の底を旅  
したとき、心細かった、寂しかっ  
た、悲しかった。でも、スイミー  
はプラス思考、だから、新しいも  
のに出会う度に自分の心の中に感  
動を溜めていきました。スイミー  
にとつては必要な旅でした。ひと  
り旅（心の旅）も悪いものではあ  
りません。孤独のなかから得るこ  
とはたくさんあるのですから。

岩陰にかくれている小さな赤い  
さかな達を呼び出すときのスイミー  
のセリフが胸にくつときます。「い  
つまでもそこにじっとしているわ  
けにはいかないよ。みんな、いつ  
しよに泳ぐんだ、海でいちばん大  
きなさかなのふりをして！」えら  
い、スイミー、待ってました！拍  
が授業のなかでなされることを願  
うのです。

「ぼくが目になろう」、この一言  
に子どもたちはぐっと身を乗り出  
してきます。真実を見る目を持ち、  
真実に向かつて行動するスイミー  
のような人に育ってほしいと願い  
を込めてこの絵本を読み語りして  
くださると嬉しいです。

◇ ◇ ◇

レオ・レオニの絵本は、単純明  
快なストーリーの中に深いものが  
あります。天童芸術学校ではレッ  
スの後の絵本タイムに私が読み  
語りしますが、レオニの作品は度々  
登場します。「スイミー」ってえらい  
ね。みんなひとつになれば怖いも  
のではないね」とワンポイントメッ  
セージを送ります。保育園、幼稚  
園では運動会や学芸会でこの物語  
を用いているようですが、小学校  
では表現する機会がぐんと減るの  
が残念です。物語の中での感動体  
験ができるようにお手伝いいたし  
ましょう。ご連絡くださいませ。E

TEL・FAX 〇四七―七〇三―七九三二  
松戸市金ヶ作二四―一第五泉ビル二〇一  
URL <http://gekidantendou.com>  
Mail [hamashima@gekidantendou.com](mailto:hamashima@gekidantendou.com)

## 人はなぜ学ばなければならぬのか

斎藤孝著／実業之日本社／  
一五七五円(税込)



日本人は「学ぶことが好きな国民性」を持ち、それが社会を安定させてきた。それが今、すぐに見返りを得られる勉強しなくなりつつある。著者の言葉で「生きる呼吸が浅くなっている」という。

では、「生きる呼吸を深くする学び」とは何か。著者は「学んだこと」によって自分が変わり、より良く生きていける力を得ること、「生きていくこと自体を祝福したくなる。あるいは、生きていくことが祝福されていると感じられるようになること」だと述べる。

毎日の読書や会社の会議から、ソクラテスや孔子と弟子たちとのやりとり、人間の死などにも触れ、「生きるために必要な力を身につける」

「自己」を肯定し、修正する」「人生をデザインし、充実して生きる」といった学びの意義や、より良い学び方を分かりやすい語りで紹介している。

「学び」は自己の心身を高めるのはもちろん、他者との関係、社会や歴史とのつながりを深めるもの、ということを感じさせられる。

## 日本人の誇り

藤原正彦著／文春新書／  
八一九円(税込)



なぜ日本人は自国の国さえ守れない、なさない民族に成り下がったのか。憂国の情に駆られる藤原氏が、近現代史の百年を検証することで、失った歴史を取り戻し、誇りある日本に生まれ変わる道筋を熱く語った。専門外の氏が近現代史を取り上げたのは、「歴史を失った民が自国への誇りと自信を抱く

## 「魂の教育」とは何か

人格教育では、子供たちが教師や父母など模範となる人の人格に触れて良い影響を受けることが大切です。また、「人格」の語源には「魂に刻まれたもの」という意味があります。「魂の教育」は人格の核心とも言える魂の無限の可能性に気づき、その魂を強めていくこと、あるいは子供たちが自己の内面の価値に目覚めて人格の形成をなすことだと考えます。例えば、「大自然に大なるものの存在を感じる」と言いますが、そうした無限の価値、意識のようなものを自分自身の中に見出すことだと言うこともできるでしょう。

ことはありえない」という思いからだ。

本書の大半を史実の検証に当て、誇りを失わせる自虐史観を植えた一部の知識人や歴史家の過ちを氏独特の感性で断罪していく。重たいテーマを扱いながら、ユーモラスな筆致で最後まで面白く読ませています。

大震災を機に、家族や郷土への思いを強くするなか、救国への一歩を促す愛国の書だ。

■表紙写真 青い空と川

撮影・大塚克己

## ■読者の声

### 震災で日本の方向性が問われている

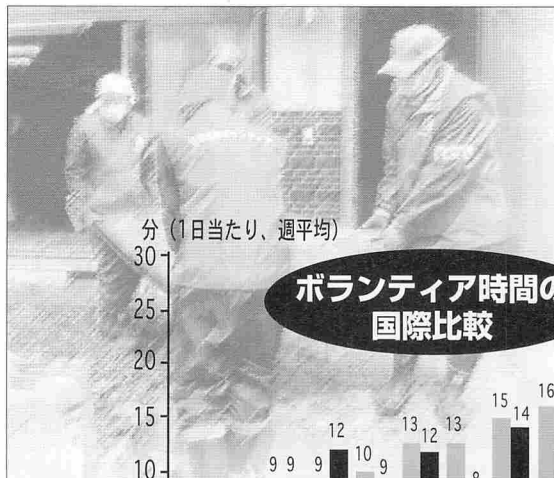
教員（静岡県）

震災関連の記事を興味深く読ませていただいています。震災で新しい日本の方向性が問われていると感じます。学校現場では授業時数が増え教科書も新しくなって、多忙を極めていますが、日本人をどう育てるのか、考えているところです。

# 若者よ、被災地に行こう！

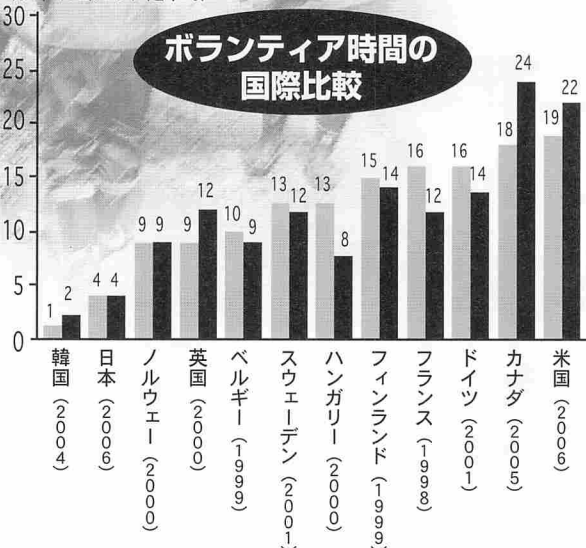
大型連休中、東日本大震災の被災地では黙々と働く人たちの姿が見受けられました。その多くは、炊き出しや瓦礫の片づけなどに汗を流すボランティアの若者たちです。ピーク時には岩手、宮城、福島の大県だけでも一万人を超えたそうです。宮城県でボランティア活動を行っ

て東京に戻った青年は「人の役に立つということ、高揚しながら話してしました。内向き・安定指向で他人にあまり関心を示さない若者が多いと言われるんですが、被災地に行つて助けを必要とする人のために役立つ喜びを知った人は少なくないはず。」



分 (1日当たり、週平均)

## ボランティア時間の国際比較



資料：総務省「平成18年社会基本調査」

阪神・淡路大震災(平成七年)の年は、日本の「ボランティア元年」と言われました。この時も、多くの人たちが被災地に駆けつけ、ボランティア活動に参加したからです。しかし、日本のボランティア文化はまだ成熟途上と言つていいでしょう。

たとえば、ボランティアに費やす時間は、日本人の場合、米国人の五分の一に過ぎないというデータがあります。他の先進国と比べても少なく、ボランティア先進国とは言い難い状況です。大型連休が終わると、被災地では若者たちの姿はすいぶんと少なくなつたようですが、たくさんの人手を必要とする状況はまだまだ続きます。

自然災害のボランティアでは、人助けする喜びだけでなく、安心して暮らせることの幸福を実感します。その一方で、犠牲となった人々の悲しい話を耳にしたり、悲惨な被災状況を目の当たりにもします。こうした体験は、学校や会社にはできない貴重な人生経験です。被災地に足を運ぶことは、人生を考える絶好の機会になりますから、勉強や仕事を少し犠牲にしても、是非ボランティアの輪に加わりましょう。

大学や企業もボランティア活動に参加しやすいような態勢を取つて、意欲のある若者を後押しして、ボランティア文化の成熟に貢献してほしいものです。

毎月第3日曜日は「家庭の日」  
11月第3日曜日は「家族の日」

「家庭の日」は、社団法人「青少年育成国民会議」が進めてきた「家庭の日」運動に端を発し、今ではほとんどの自治体が、第3日曜日を「家庭の日」に定めています。さらに政府は10月の第3日曜日を「家族の日」、その前後2週間は「家庭の週間」として定めました。この日を機会に、家族の強い絆を確認できれば、それは家族みんなへの素敵なプレゼントになるでしょう。

## 家庭は愛の学校

眞の家庭運動推進協議会

The Association for the Promotion of True Families

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-13-2 成約ビル4F  
電話03(6657)7760 FAX03(6657)7761 <http://www.aptrf.jp>

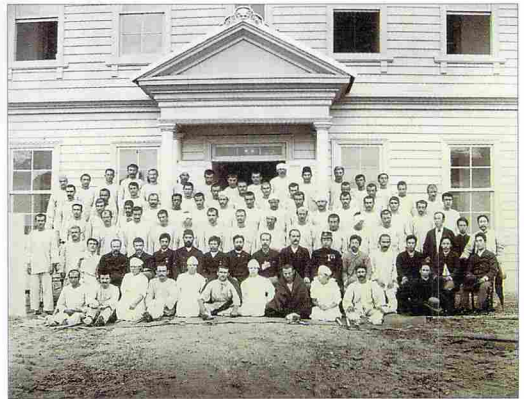
●皆様の御意見や気づいたことをお寄せ下さい。教育問題に関して、皆様の身の回りでの様々な出来事や御意見などを眞の家庭運動推進協議会本部までお寄せ下さい。お寄せいただいたものを参考にしながら、皆様と共によりよい教育環境や家庭づくりに取り組んでいきたいと考えています。



第3種郵便物認可  
2011年7月10日発行  
毎月10日発行・通巻254号

# 日本とトルコの友好の始まり / 和歌山

歴史と  
伝統の  
探訪



(左上より時計回りに) エルトゥールル号、串本町に建立された慰霊碑、神戸の病院で手当を受ける乗組員たち、櫻野崎沖のエルトゥールル号遭難海域=写真提供・串本町役場

日本とトルコの友好関係の始まりと言われるのが「エルトゥールル号遭難事件」だ。

一八九〇年九月十六日、オスマン帝国の軍艦エルトゥールル号が、現在の和歌山県串本町沖合で遭難。五百八十七人の乗員が死亡した。大島村（現在の串本町櫻野）の住民が救助活動にあたり、六十九人を救出。住民は人肌で遭難者の体を温め、献身的に介抱。食料も底をついたが、最後は飼っていたにわとりも料理して食べさせた。

明治天皇は出来るかぎりの救援を指示。また各地から多くの義援金が集まった。その後、生存者は日本海軍の軍艦により帰国した。

それから九十五年後の一九八五年三月十七日、イラン・イラク戦争でのことだった。イラクが、四十八時間後にイラン上空を飛ぶ全ての航空機を撃ち落とすと宣言。各

国は救援機を出して自国民を救出したが、日本は対応が遅れ多くの日本人が取り残される。

そうした危機的状況の中、日本政府の要請でトルコ航空機が到着。二百十五人の日本人全員を乗せて出発する。

なぜトルコ機は危険を冒してまで日本人を救出してくれたのか。時の駐日大使、ネジアティ・ウトカンは「日本人がなしてくださった献身的な救助活動を、今もトルコの人たちは忘れていません。私も小学生のころ、歴史教科書で学びました。トルコでは子供たちさえ、エルトゥールル号のことを知っています」と語っている。

串本町では五年に一度、追悼式典が行われている。二〇〇八年六月七日にはギョル大統領が同国大統領として初めてこの地を訪れ、式典で献花を行った。

2011  
7  
no.254

En-ichi

●発行所  
NCU-NEWS  
(東西南北統一運動国民連合)  
代表 河部利夫

〒160-0022  
東京都新宿区新宿5-13-2  
成約ビル2F  
TEL.03(5362)0631  
FAX.03(3354)5017  
E-mail news@en-ichi.org  
URL http://www.en-ichi.org

●発行人 渡辺久義  
京都大学名誉教授

定価 400円  
[1年間5000円(送料込み)]

郵便振替番号  
00160-3-667291

●本誌に対するご意見、ご感想をお寄せください。  
●定期購読のお申し込みは、電話またはEメールでどうぞ。